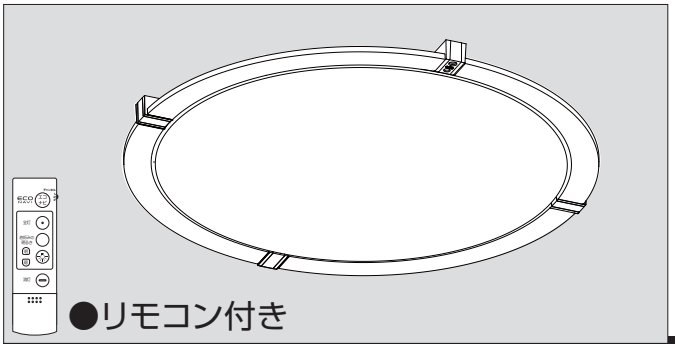
Panasonic

保管用
施工説明付き
保証書別添付

取扱説明書

住宅用照明器具
（シーリングライト）


●リモコン付き

オートエコ調光付 ツインPa

品番 HHFZ4222
HHFZ4322

もくじ

安全上のご注意 …… 2
ご使用上に関するお知らせ …… 3
エコナビ(オートエコ調光機能)とは …… 4
各部のなまえと付属部品 …… 5
取り付け前の確認 …… 6
照明器具を取り付ける …… 7
照明器具を取り外す …… 8
あかりをつける・消す …… 9
リモコンの設定と便利な使いかた …… 10
エコナビ(オートエコ調光機能)の各種設定と使いかた …… 11
お手入れ・ランプ交換 …… 13
教えて！Q&A …… 14
故障かな?と思ったら …… 裏表紙
保証とアフターサービス …… 裏表紙

お客様へ

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、
正しく安全にお使いください。
特に、ご使用前に「安全上のご注意」（2〜3ページ）を必ずお読みください。
保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

■この説明書は必ずお客様にお渡しください。

◎上手に使って上手に節電

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

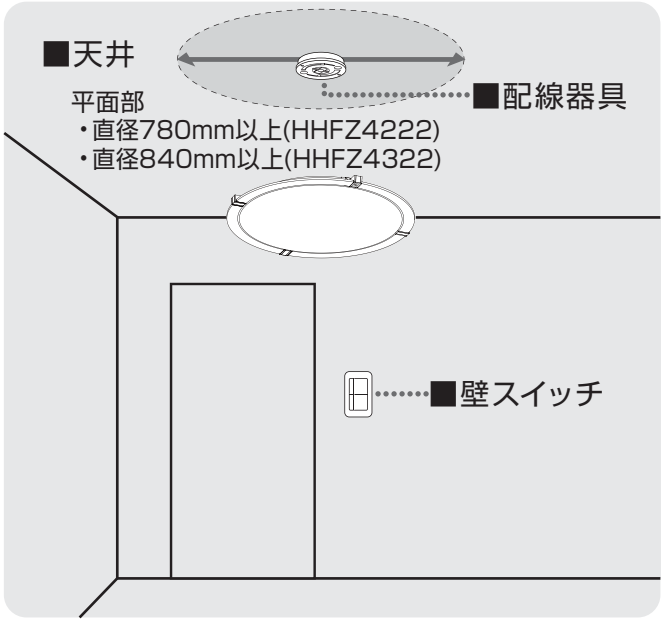
■誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれのある内容」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の図記号で説明しています。(下記は図記号の一例です。)

⃠	してはいけない内容です。
❗	実行しなければならない内容です。

⚠ 警告



■天井

❗ 必ず守る

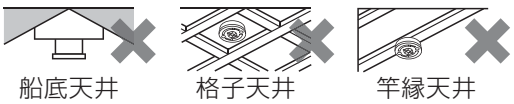
●平面部は指定した寸法以上の場所に取り付ける（例：上図）

落下によるけがのおそれがあります。

⃠ 禁止

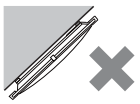
●凹凸のある場所に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。



●傾斜した場所に取り付けない

火災、落下によるけがのおそれがあります。



◎この器具は水平天井面取り付け専用です。

■配線器具

●がたついたり、破損している配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けない

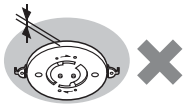
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

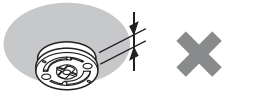
⃠ 禁止

●適正な状態にない配線器具には無理に取り付けない

落下によるけがのおそれがあります。

出しろの少ないもの

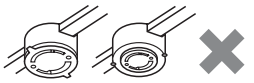




斜めに取り付けられたもの

シーリングハンガーが取り付けられたもの

ケースウェイに取り付けられたもの

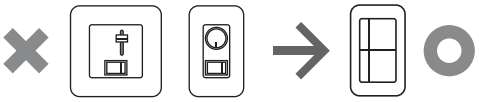


■壁スイッチ

❗ 必ず守る

●調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換する

火災のおそれがあります。



◎販売店、工事店に交換を依頼してください。
(取り外しには資格が必要です。)

■その他

⃠ 分解禁止

●器具を改造したり、部品交換をしない

火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

❗ 必ず守る

●交流100ボルトで使用する

過電圧を加えると過熱し、火災、感電のおそれがあります。

●異常を感じた場合、速やかに電源を切る

異常状態が収まったことを確認し、販売店またはお客様ご相談窓口（保証書内在中）にご相談ください。

⚠ 注意

必ず守る

●照明器具には寿命があります。
設置して10年経つと、
外観に異常がなくても
内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けると
まれに火災、感電、落下などに
至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」
(保証書内在中) に基づき、自主点検
してください。

●付属の梱包材は取り除いて使用する

そのまま使用すると、火災の原因と
なることがあります。

接触禁止

●点灯中や消灯直後はランプやその周辺にさわらない

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れやランプ交換は電源を切り、ランプや
その周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や
屋外で使用しない

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かない

火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

ご使用上に関するお知らせ　故障や異常ではありません

【器具自体の留意点】

●点灯中や消灯直後、プラスチック伸縮によるきしみ音が
照明器具から発生することがあります。

●周囲の温度が低いと、蛍光灯が明るくなるまで時間が
かかったり、温まるまでちらつくことがあります。
また、点灯直後のリモコン動作が悪い場合があります。

●非常に短い停電があると点灯状態が変わる場合があります。

●低誘虫（虫がよってこない）機能は、蚊、ゴキブリなど、
光に誘われない虫には効果がありません。
また周囲の光環境によっても効果に差が生じます。

【　周 囲 の 影 響　】

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像機器に雑音
が入ることがあります。

●近すぎる場所にあるリモコン機器（エアコンなど）の
リモコンが動作しにくくなることがあります。

【エコナビ点灯時、場合によっては下記の現象が起こることがあります】

○お部屋の床やテーブルなどの色味が
濃い場合に器具の真下で…

- 新聞紙や雑誌などを広げたとき
- 白いお皿を並べたとき
- 白い衣服で座ったとき

○近くにある他の照明を点灯させた場合

- 壁面のブラケットを点灯
- ダイニングの照明を点灯
- デスクスタンドを点灯

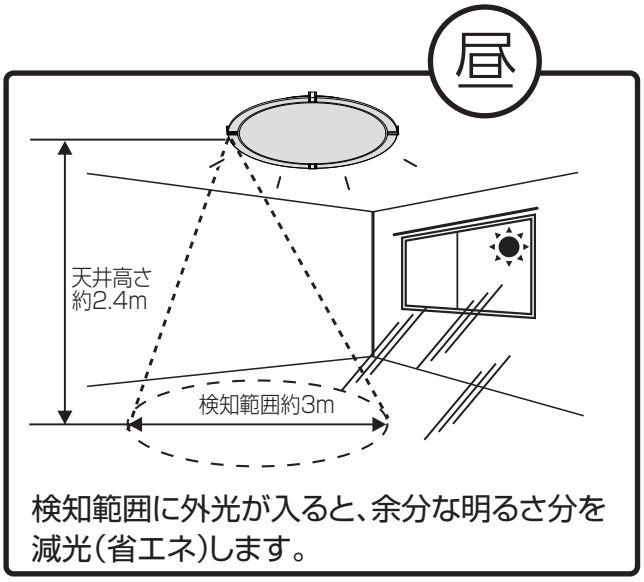
○その他の場合

- 器具の真下に長時間立ったとき
- 器具の真下に白い敷物を敷いたとき
- 明るさセンサーに鏡の反射光が入ったとき

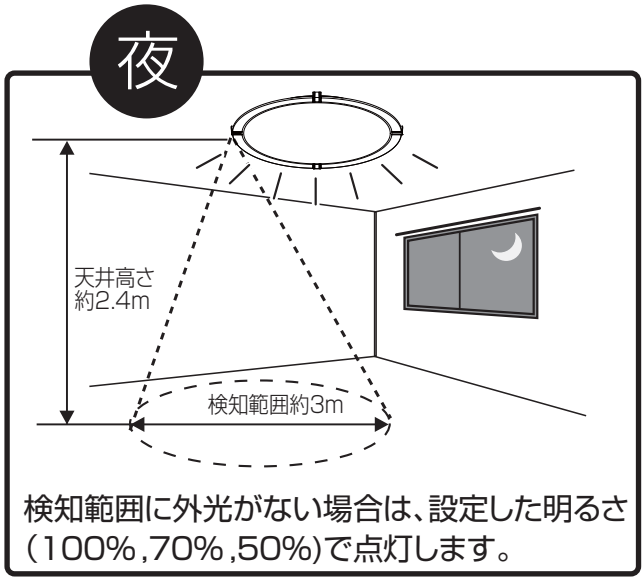
左記のような条件下では照明が暗くなる場合が
ありますが、異常ではありません。
気になる場合は「全灯」又は「お好みの明るさ」
ボタンを押してご使用ください。

エコナビ(オートエコ調光機能)とは

センサーがお部屋の明るさを検知し外からの光に応じて、
照明器具が自動で余分な明るさを抑えて点灯します。

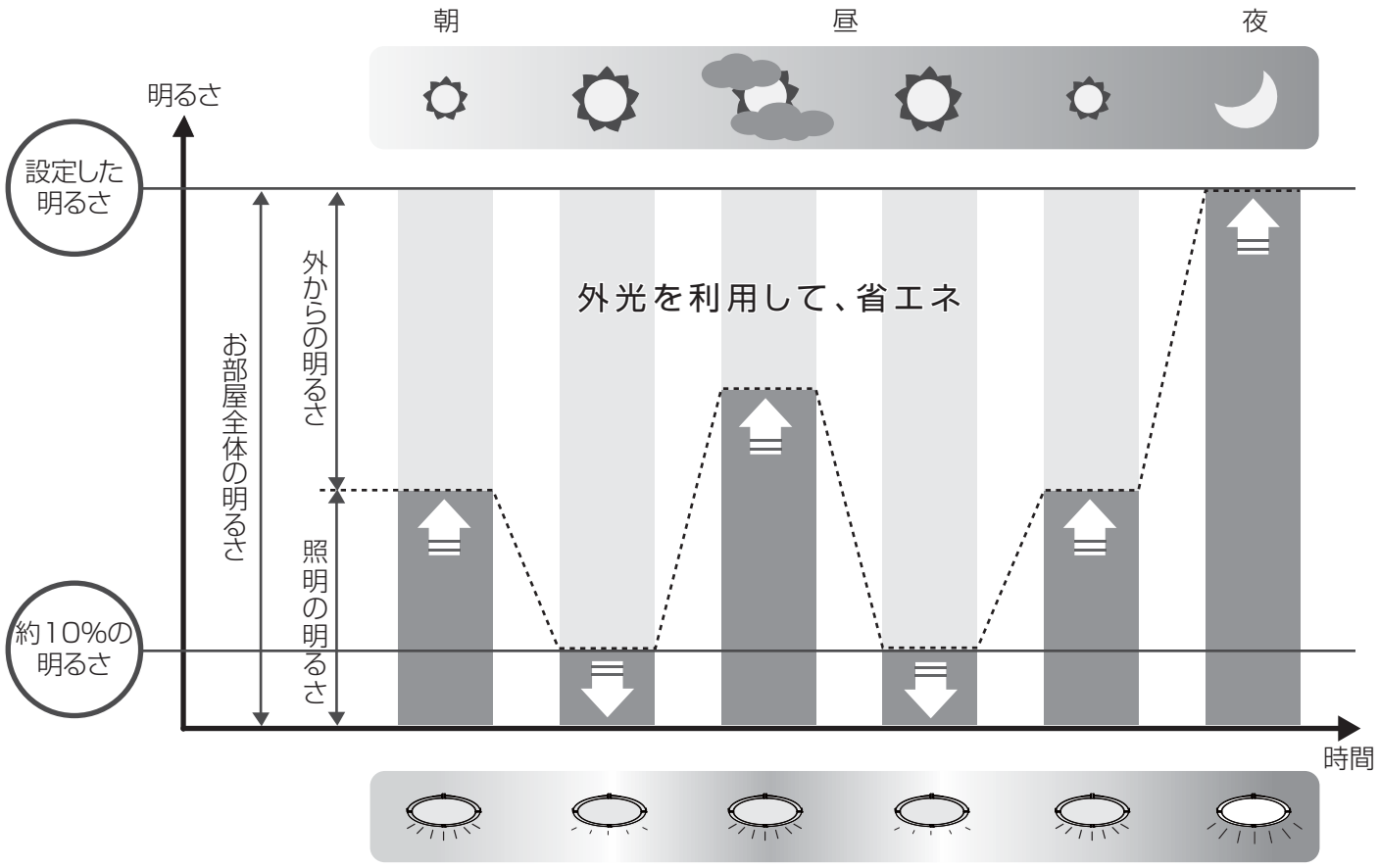


検知範囲に外光が入ると、余分な明るさ分を減光(省エネ)します。



検知範囲に外光がない場合は、設定した明るさ(100%,70%,50%)で点灯します。

■ 動作イメージ

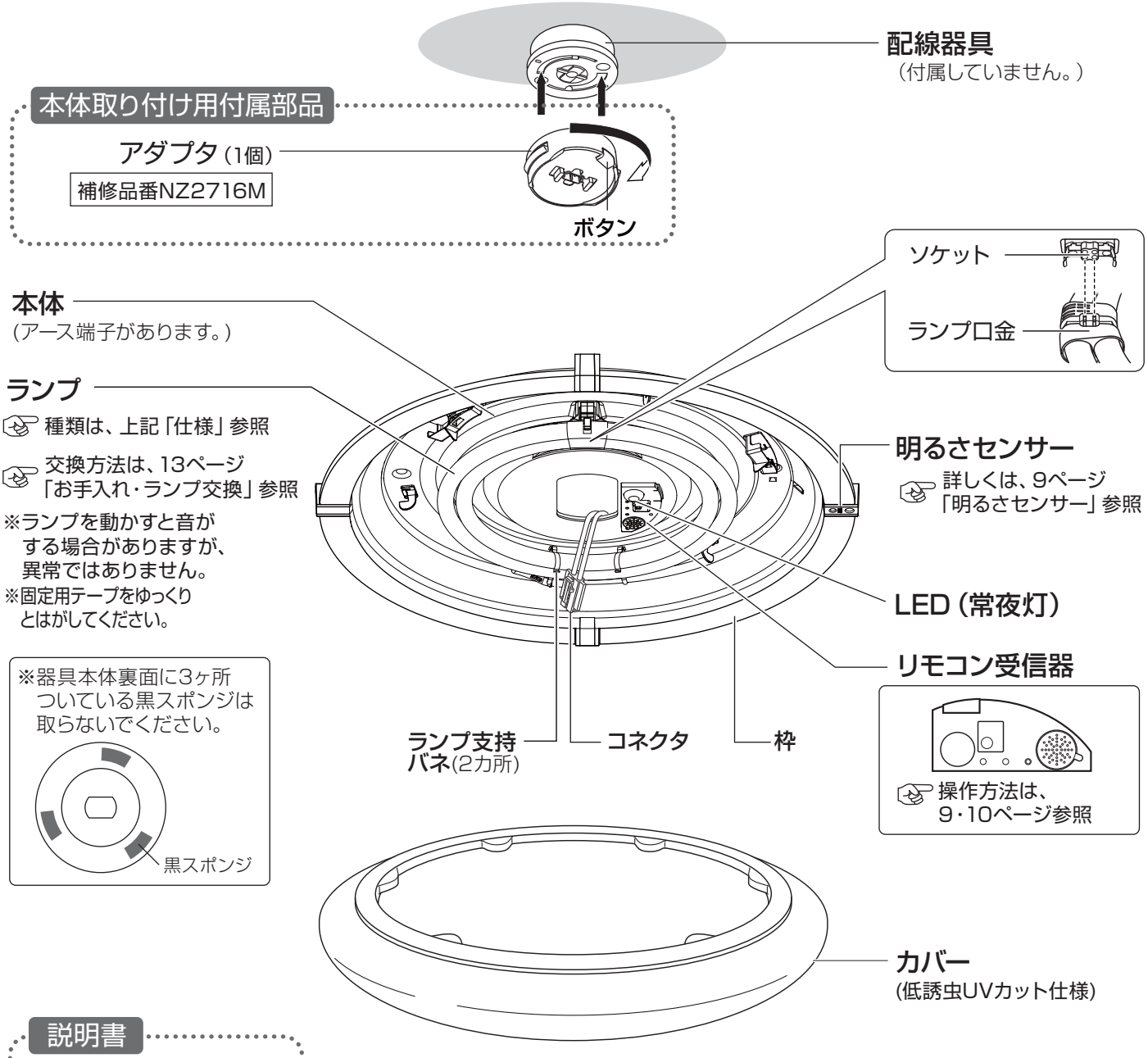


各部のなまえと付属部品

施工する前にまず付属部品をご確認ください

	品番	使用電圧	周波数	消費電力	ランプ	
仕様	HHFZ4222	AC 100 V	50/60 Hz 共用	72 W(リモコンOFF時1W以下)	85形ツインパルックプレミア蛍光灯	クール色
	HHFZ4322			87 W(リモコンOFF時1W以下)	100形ツインパルックプレミア蛍光灯	

照明器具 (※形状は品番により異なることがあります)



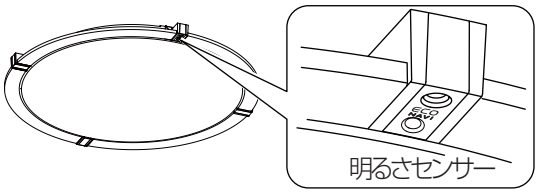
説明書

取扱説明書
かんたんガイド

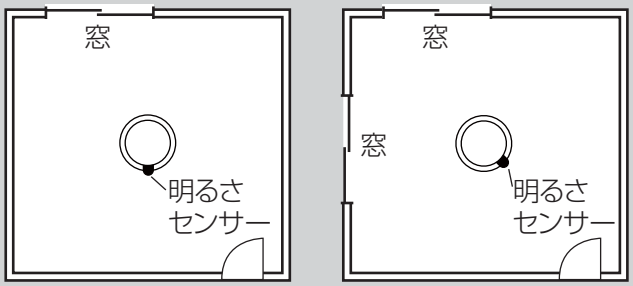
リモコン付属部品

■ 明るさセンサーの方向

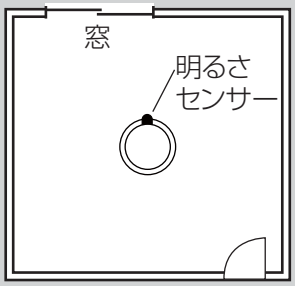
明るさセンサーの位置を窓から離したところに
くるように取り付けてください。



良い例 ○



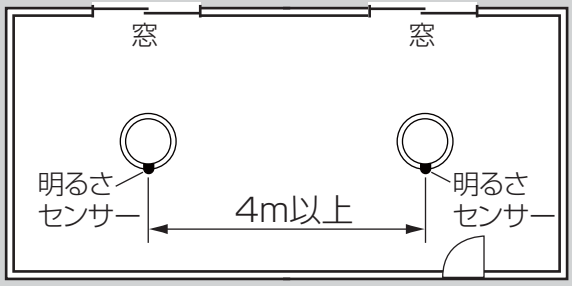
悪い例 ×



注意 窓の外の光を直接検知すると、設定よりも暗くなるおそれがあります。

■ 同一部屋内での複数灯設置の制約条件

2台設置時は明るさセンサーを4m以上離してください。



照明器具を取り付ける　安全のため、電源を切ってから行ってください

1 天井についている配線器具を確認する

天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。 **2の作業へ進んでください。**

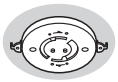
WG5005
WG5015
丸型フル引掛
シーリング

WG6005
フル引掛
ローゼット

WG1000
角型引掛
シーリング

WG4000
WG4420
WG4005
WG4425
WG1500
丸型引掛
シーリング

天井からの出しろが 22 mm の配線器具


WG6000
WG6420
WG6130
引掛埋込
ローゼット

WG6001WK
引掛埋込ローゼット
（ハンガーなし）

天井からの出しろが 11 mm の配線器具

上記以外の配線器具の場合、または配線器具が設置されていない場合は取り付けできません。

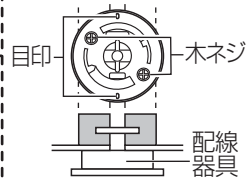
◎販売店､工事店に配線器具の取り替え、取り付けをご依頼ください。

※工事には資格が必要です。

⚠ 警告

必ず守る　**目透かし天井へ取り付ける場合は、目透かしの方向に目印を合わせて取り付ける**

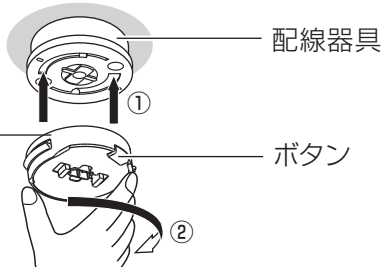
落下してけがのおそれがあります。

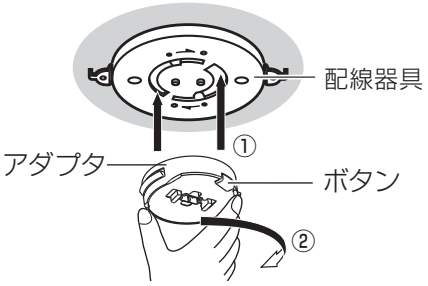


2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける

①位置を合わせる

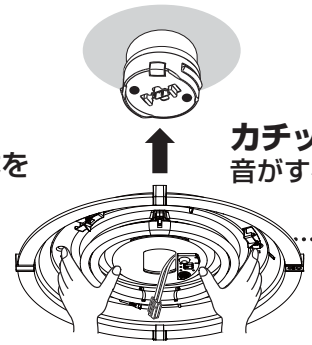
②アダプタを右に回して取り付ける





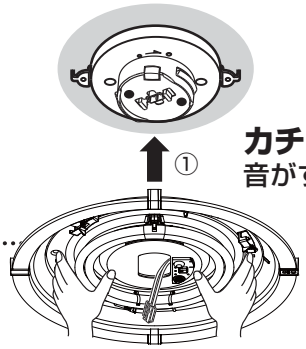
3 本体を押し上げて取り付ける　◎取り付けの際、ランプ、明るさセンサーや枠を持たないでください。

①カチッと音がするまで本体を押し上げる



カチッ,カチッと2度、音がするまで

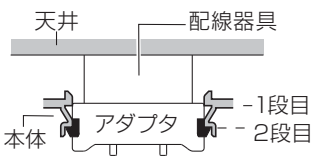
※器具裏面の黒スポンジは取り外さないでください。本体の固定ができなくなり簡単に回転します。



カチッと1度、音がするまで

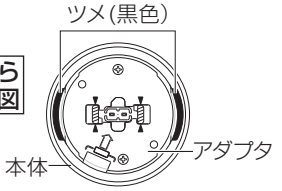
●アダプタの本体取り付け位置

横から見た図



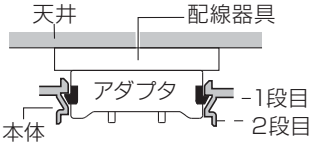
2段目まで押し上げる

下から見た図



アダプタのツメ(黒色)が両方見えるまで本体を押し上げる

横から見た図



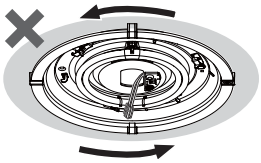
1 段目まで押し上げる

確認

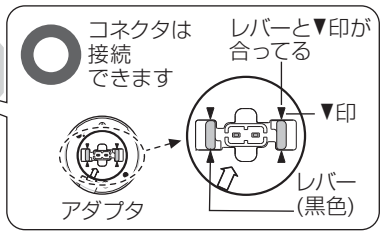
本体が正しく取り付けられているか確認する。

正しく取り付けされていない場合は**3**を再度行ってください。

本体がグラグラする

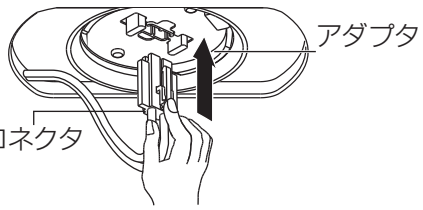

本体が簡単に回転する

アダプタのレバーが正しい位置にきていない



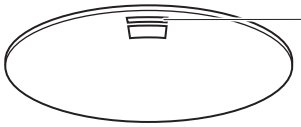
4 コネクタをアダプタに差し込む

コネクタを
確実に
差し込む



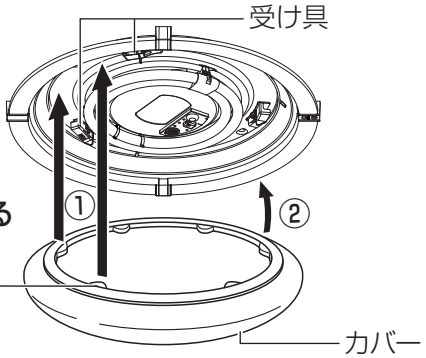
確認 コネクタが差し込めない場合は
本体が正しく取り付けられていません。
→差し込めない場合は、前ページ **3** に戻る。

5 カバーを取り付ける



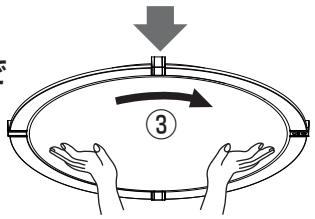
HHFZ4222の場合

①カバーの凸部2カ所を本体の
受け具と受け具の間に合わせる



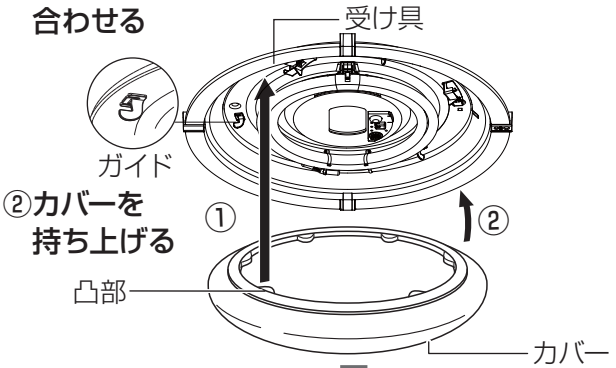
②カバーを
持ち上げる

③カバーを
止まるまで
右に回す



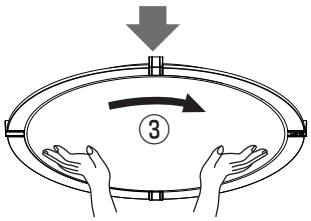
HHFZ4322の場合

①カバーの凸部を本体の
受け具とガイドの間に
合わせる



②カバーを
持ち上げる

③カバーを
止まるまで
右に回す



確認 バランスを見て、カバーが水平に
取り付けられていることを確認する。
→水平ではない場合は、カバーを左に
回して外し、再度、**5** を行う。

⚠ 注意

必ず守る

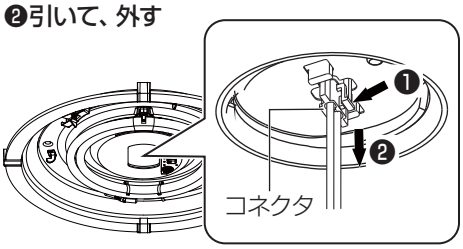
カバーは確実に取り付ける
落下してけがのおそれがあります。

照明器具を取り外す

安全のため、電源を切ってから行ってください

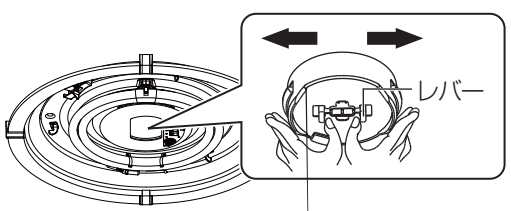
①コネクタを外す

❶つまみながら
❷引いて、外す



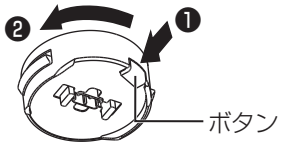
②本体を外す

本体を支えながらレバーを
矢印の方向(左右)に広げる



③アダプタを外す

❶ボタンを押しながら
❷左に回す

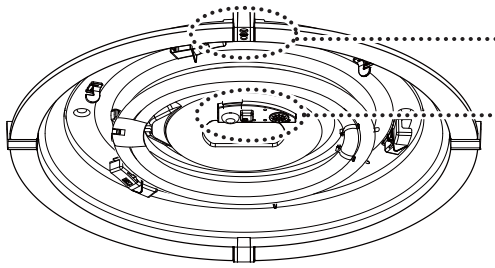


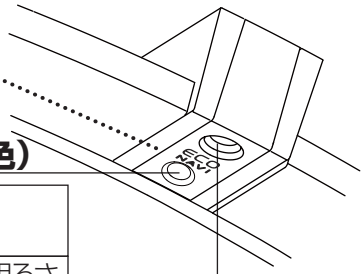
あかりをつける・消す

リモコンで照明器具を操作する

壁スイッチはONの状態にしてください

明るさセンサー



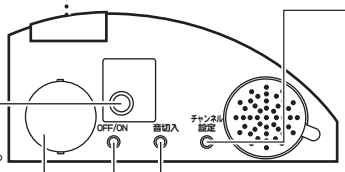


エコナビランプ（緑色）

点灯	·エコナビON ·環境設定時
点滅	エコナビON·明るさ変化中
消灯	エコナビOFF

明るさセンサー
周囲の明るさを検知します。

リモコン受信器（本体）



チャンネル設定スイッチ
器具のチャンネルを設定する場合に使用

音切入スイッチ
押すごとにリモコン操作時の音を切/入

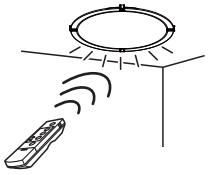
リモコン受信部
リモコンからの信号を受けます。
※傷つけたり、汚したりしないでください。

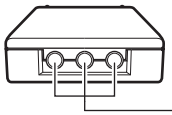
LED（常夜灯）

OFF/ON スイッチ
押すごとに消灯/全灯

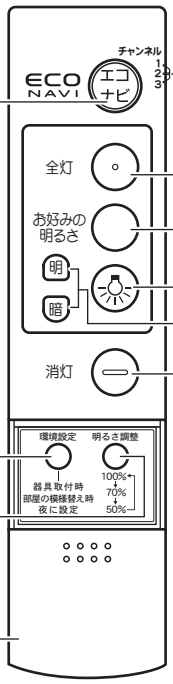
リモコン

送信のしかた
必ず「リモコン送信部」を照明器具に向けて操作してください。





リモコン送信部
※傷つけたり、汚したりしないでください。



チャンネルスイッチ
操作する器具のチャンネル（1〜3）を設定
☞10ページ「リモコンのチャンネルを設定する」参照

エコナビ

エコナビボタン
エコナビ点灯を開始します。
☞12ページ「エコナビの使いかた」参照

環境設定ボタン
お部屋の明るさ環境を設定します。
☞11ページ「エコナビの初期設定」参照

明るさ調整ボタン
エコナビ点灯時の最大の明るさを3段階から調整します。
☞12ページ「エコナビをより省エネで使うには」参照

スライドカバー
スライドカバーを開けて、環境設定、明るさ調整を行います。

手動で点灯・消灯

全灯ボタン
蛍光灯が100%の明るさで点灯

お好みの明るさボタン
蛍光灯が明/暗ボタンで変更した明るさで点灯

LED（常夜灯）ボタン
LEDが明/暗ボタンで変更した明るさで点灯
◎太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

明/暗ボタン
蛍光灯（100〜約10%）、LED（6段階）の明るさを調整

消灯ボタン

付属のリモコンの他に、下記のリモコンで操作ができます。（エコナビは使えません）

HK9392K
- ●タイマー機能
- ●蛍光灯、LEDの明るさを変更可能
- ●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替え可能

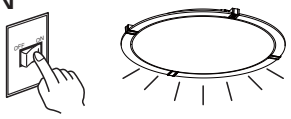
HK9327K
- ●蛍光灯、LEDの明るさを変更可能
- ●蛍光灯、LEDをダイレクトに切り替え可能

あかりをつける・消す

壁スイッチで照明器具を操作する

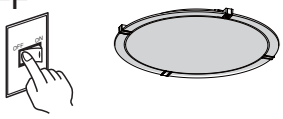
点灯・消灯する

壁スイッチ ON → 点灯



記憶している前回の「消灯前の明るさ」で点灯します

壁スイッチ OFF → 消灯

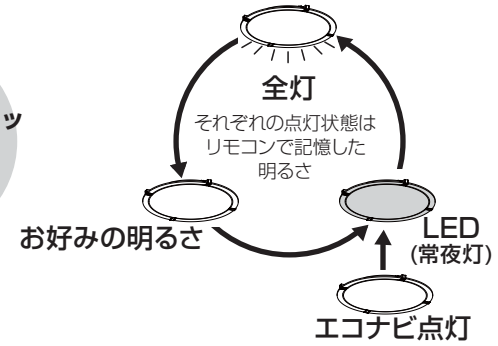


今回の「消灯前の明るさ」を記憶して消灯します

「エコナビ点灯」状態でOFFすると、
次にONしたときも「エコナビ点灯」になります。

点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く(約2秒以内) OFF→ONすると
点灯状態が切り替わります。
但し、エコナビ点灯には切り替えできません。



リモコンの設定と便利な使いかた

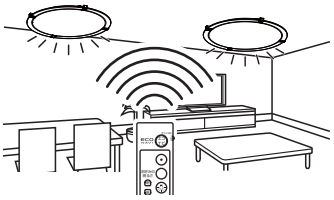
リモコンのチャンネルを設定する　複数のリモコン照明器具を操作できます

リモコンのチャンネルを切り替えると、1台のリモコンで複数の器具が操作できます。
また、リモコンで器具を操作できない時は、チャンネル設定が正しくない場合があります。

チャンネル設定でできること

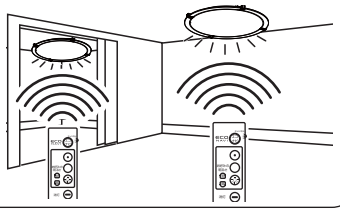
●複数の器具を同時に点灯できます。

(例) 一部屋に2台のリモコン照明器具がある場合



●近くの器具を干渉せずにそれぞれ単独で点灯できます。

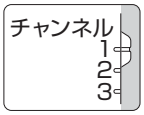
(例) 隣室にもリモコン照明器具がある場合



チャンネルの設定方法

①

リモコン受信器の「チャンネル設定スイッチ」を押す

② 

リモコンの「チャンネルスイッチ」を希望のチャンネルに合わせる
(例：チャンネル1)

③

リモコンのいずれかのボタンを押す
↓
「ピピーッ」と音がして設定完了

全灯ボタンを押したときの明るさを変更する

全灯ボタンを押したときの蛍光灯の明るさを100～約10%の範囲で設定することができます。

「全灯ボタン」を押す

リモコン受信器の「OFF/ONスイッチ」を「ピッ」と音がするまで押し続ける

「明/暗ボタン」で蛍光灯の明るさを調節する

「全灯ボタン」を押す

→「ピピーッ」と音がして変更完了

エコナビ(オートエコ調光機能)の各種設定と使いかた

エコナビの初期設定　初めてお使いになるときは必ず行ってください

■環　境　設　定

エコナビを使うために、お部屋の明るさ環境を設定する必要があります。
下記の設定方法に従って、設定を行ってください。

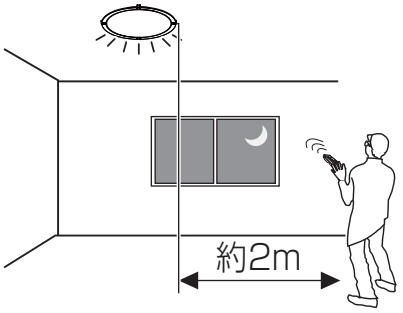
設定方法

設定は、下記内容にそって行わないと正しい省エネ効果が得られない場合があります。

●設定は必ず夜間に行ってください。
（昼間に「環境設定」ボタンを押すと、正常に設定できません。）

●照明器具から約2m離れて、設定してください。
（器具の近くに人がいると、正常に設定できません。）

●近くにある他の照明は、常時点灯させている場合をのぞいて消してください。
（他の照明の光に反応して、正常な設定が出来ない場合があります。
☞15ページ「教えて!Q&AのQ6」参照）

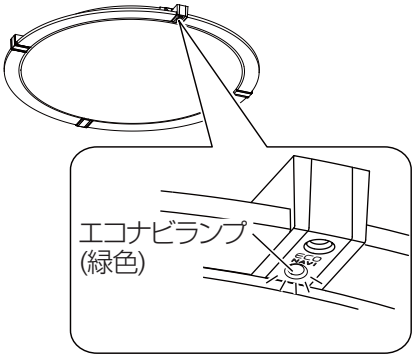


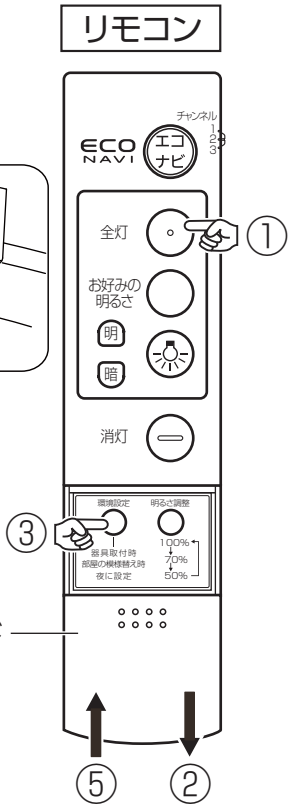
メモ
設定する前に、「全灯」又は「お好みの明るさ」ボタンを押して1～2時間ほど器具を点灯させると、より正確な設定を行うことができます。

① **リモコンの「全灯」ボタンを押す**
➡ 照明器具が100%で点灯

② **リモコンのスライドカバーを開ける**

③ **リモコンの「環境設定」ボタンを押す**
➡「ピッ」と音が鳴り設定開始
・エコナビランプ(緑色)が点灯





注意
●下記の状態のときは「ピピッ」と音が鳴り、設定できません。
・「エコナビ点灯」しているとき
・「LED(常夜灯)」が点灯しているとき
・「消灯」のとき
●環境設定中はリモコン操作はできません。
●環境設定中に壁スイッチをOFFにすると設定はできません。

④ **約15～20秒後に「ピピーッ」と音がして設定完了**
・エコナビランプ(緑色)が消灯

⑤ **スライドカバーを閉じる**

メモ
一度環境設定すると、電源を切っても記憶しています。

お願い
下記の場合には再度、環境設定を行う必要があります。
・テーブルやソファなどの家具の配置を替えたとき
・じゅうたんやカーテンなどの部屋の模様替えを行ったとき
・ランプ交換を行ったとき

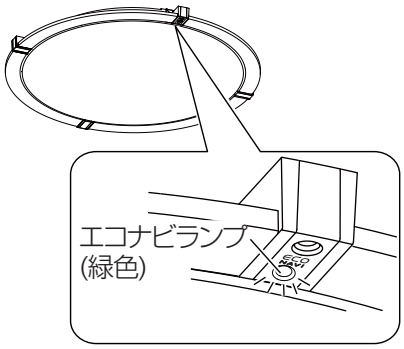
エコナビの使いかた

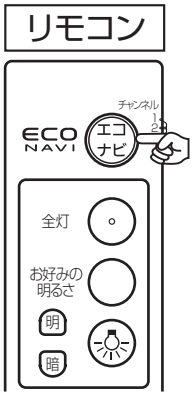
■エコナビをONにする

リモコンの「エコナビ」ボタンを押す

➡エコナビランプ(緑色)が点灯してスタートします

メモ 消灯状態で「エコナビ」ボタンを押すと
器具が点灯してエコナビがスタートします。





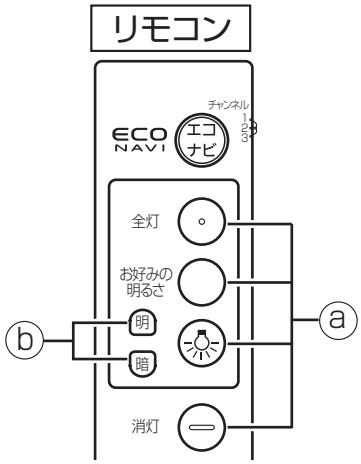
■エコナビをOFFにする

下記の ⓐ ～ ⓒ のいずれかの操作でエコナビをOFFできます。

ⓐ 「全灯」,「お好みの明るさ」,「LED(常夜灯)」,「消灯」のいずれかのボタンを押すと
エコナビをOFFし、押したボタンに応じた点灯状態に切り替わります。

ⓑ 「明」,「暗」ボタンを押すと、エコナビをOFFし、蛍光灯の明るさが
変わります。

ⓒ 壁スイッチを素早く(約2秒以内)OFF→ONすると、エコナビをOFFし、
LED(常夜灯)が点灯します。
(☞10ページ「壁スイッチで照明器具を操作する」参照)



エコナビをより省エネで使うには

■明るさ調整

エコナビ点灯時の最大の明るさを100%・70%・50%に調整できます。

設定方法 **(一連の操作を、あらかじめお読みになってから行ってください。)**

① **エコナビがONであることを確認する**
(OFFの場合は、リモコンの「エコナビ」ボタンを押してください。)

② **リモコンのスライドカバーを開ける**

③ **リモコンの「明るさ調整」ボタンを1回押す**
➡「ピッ」と音が鳴り、
現在設定されている明るさ(下記の3段階のいずれか)になる

④ **5秒以内 に再度「明るさ調整」ボタンを押して下記の中から選択する**

明るさ最大 100% —(5秒以内)→ 明るさ最大 70% —(5秒以内)→ 明るさ最大 50%

ボタンを押すごとに明るさが変化します。

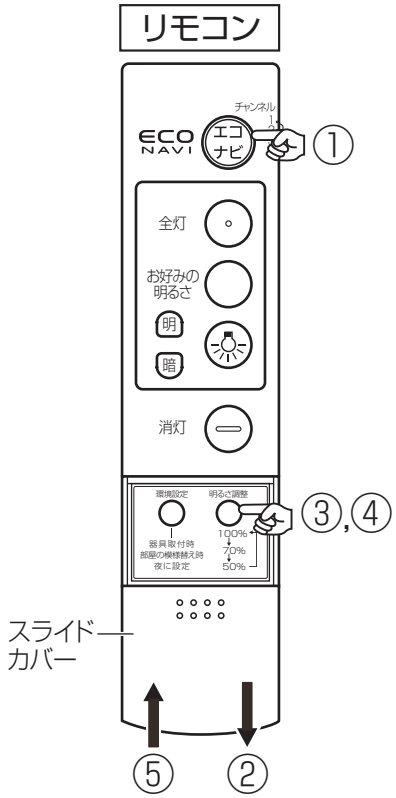
(5秒以内)

明るさが決まりましたら(5秒後に)自動的にエコナビ点灯がスタートします。
エコナビ点灯時は、設定した最大の明るさと最小の明るさ(約10%)の間で
明るさを自動で調節します。

メモ ・50% を選択すると蛍光灯は最大で50%点灯となりより省エネ効果が得られます。
・お買上げ時の設定は最大の明るさ100%になっています。

⑤ **スライドカバーを閉じる**

メモ エコナビはON状態です。
OFFする場合は、☞上記「エコナビをOFFにする」をご参照ください。



お手入れ・ランプ交換

電源を切って、ランプやその周辺が冷めてから行ってください

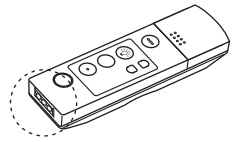
●明るく安全に使用していただくため、
定期的（6カ月に1回程度）に清掃してください。

●汚れがひどい場合は、
石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、
乾いたやわらかい布で仕上げてください。

確認 シンナー、ベンジンなどの
揮発性のものでふいたり、
殺虫剤をかけたりしないでください。
変色、破損の原因となります。

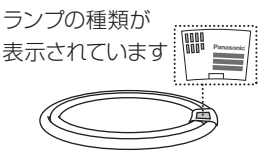
●リモコンのリモコン送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れるとリモコンが効きにくくなります。

●リモコンの電池は半年を目安に取り替えてください。
※付属の電池は、保管状況により性能が落ちることがあります。



●ランプの明るさが低下したり、
点滅をくり返したりするようになると寿命です。
ランプを交換してください。

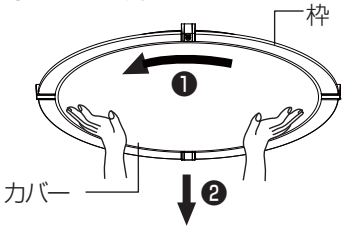
●パナソニック製ツインパルック
プレミア蛍光灯をお買い求め
ください。種類が同じで光色の
異なるランプも使用できます。



ランプの交換方法

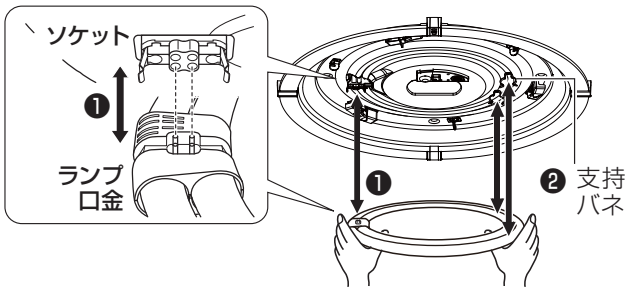
①カバーを取り外す

❶カバーを止まるまで左に回す
❷カバーを外す



②古いランプを取り外す

❶ランプ口金側を外す　❷支持バネ側を外す



③新しいランプを取り付ける

❶ランプ口金を確実に
ソケットに差し込む
❷支持バネで固定する

④カバーを取り付ける

☞ 8ページ
「照明器具を取り付ける」
手順 5 参照

⚠ 警告

枠は本体側に取り付いていますので、枠を持って回さないでください
本体落下によるけがのおそれがあります。

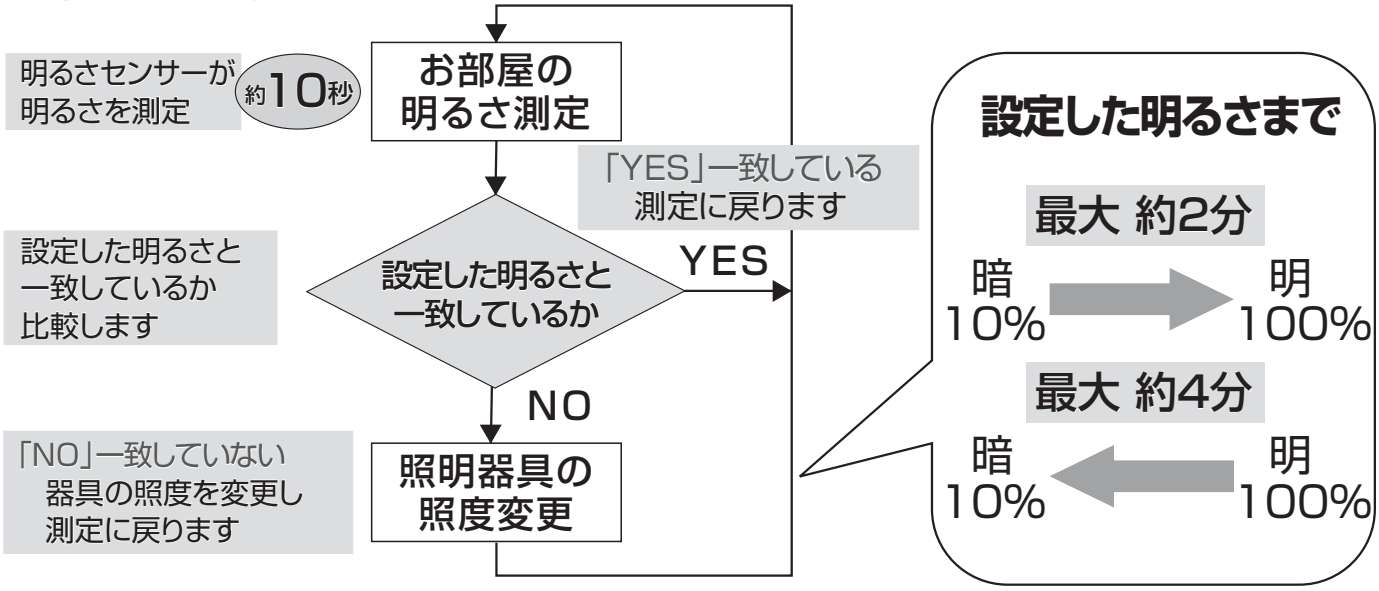
教えて！Q&A

エコナビ(オートエコ調光機能)の動作について

Q1

明るさセンサーはどんな動作をするの?

●約10秒間お部屋の明るさを測定し、明るさを変更するか、
明るさを保つか判断します。



Q2

検知範囲内でテレビをつけた場合はどうなるの?

●影響はほとんどありません。

➡気になる場合はエコナビをOFFにしてご使用ください。

☞ 12ページ 「エコナビの使いかた」エコナビをOFFにする 参照

Q3

明るさセンサーが汚れたらどうなるの?

●明るさセンサーが検知しにくくなるため、省エネ効果が得られにくくなります。

➡汚れがひどい場合は、石けん水に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。

Q4

センサーにカメラのフラッシュが入ったらどうなるの?

●瞬間的な明るさ変化のためエコナビには影響しません。

Q5

天井高さに制限はないの?

●標準天井高さ2.4m～3mまでを目安にご使用ください。
天井が低いと検知範囲が狭くなり、天井が高いと検知範囲は広くなります。
例えば全く同じ条件のお部屋で動作比較すると、検知範囲の広い方がより明るさセンサーに入る光の量が多いため減光しやすくなります。

教えて！Q&A

設定について

Q1

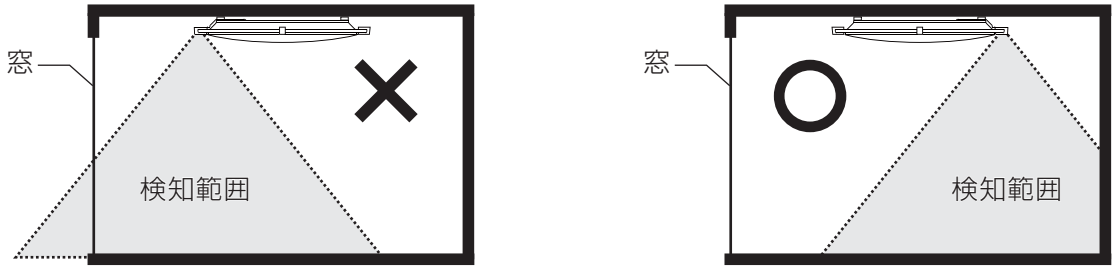
なぜ環境設定を行う必要があるの?

●お部屋の明るさは家具の色や配置でも変わります。
白いじゅうたんに白いテーブルクロスを敷いたお部屋と、黒いじゅうたんに黒いテーブルクロスを敷いたお部屋では、センサーが検出する明るさに差が出てきます。
「環境設定」は、そのお部屋の基本となる明るさを測定し、適切にエコナビ点灯するために必要な設定です。

Q2

なぜ明るさセンサーを窓から離す必要があるの?

●検知範囲が直径約3m(天井高さ約2.4mの場合)あるため、窓側にセンサーを設置したとき窓の外の明るさを検出してしまい、お部屋の明るさを正確に判定できないことがあります。
このため、窓の反対側に設置していただくことを推奨します。



Q3

外光がある状態で環境設定するとどうなるの?

●外からの光が入った状態で環境設定を行うと、お部屋の環境が明るいと誤測定をしてしまいます。
その誤った明るい状態が基準となるため、それ以上のより明るい光が入らないと減光動作を行わず省エネ効果が得られなくなります。

Q4

環境設定をしないで使うとダメなの?

●環境設定を行わずに、エコナビ点灯を行った場合、工場出荷状態での環境設定となります。
（工場出荷時の環境設定 ・ 一般的なリビングを想定した環境で設定しています。
・ 天井高さ2.4m、茶色のフローリング、茶色の低いテーブル、ベージュのカーテン）
そのため少しでも環境が異なりますと、省エネ効果が少なくなったり全く得られないというような場合がありますので、環境設定を行ったうえで、エコナビ点灯してください。

Q5

なぜ1～2時間点灯させてから環境設定した方がいいの?

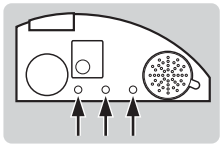
●ツインPaのランプは点灯直後は明るさが不安定です。
1～2時間お待ちいただくことにより、明るさが安定した状態で環境設定することができます。

Q6

同じ部屋に他の照明（例:ダウンライト）がある時はどうやって設定するの?

●基本的には消灯して環境設定を行っていただく方が省エネ効果が得られます。但し、他の照明を常時点灯させている場合は、点灯した状態で環境設定を行ってください。

故障かな?と思ったら　下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	処　置	参照ページ
点灯しない	コネクタが確実に差し込まれていない	コネクタを一度抜き、本体を押し上げてからコネクタを再度、差し込む	7ページ 3 8ページ 4
	ランプ口金がソケットから外れている	ランプ口金をソケットに差し込む	13ページ「お手入れ・ランプ交換」
	ランプが切れている	ランプを交換する	
	壁スイッチがOFFになっている または、リモコンで消灯にして壁スイッチをOFFにしていた	壁スイッチをONにする または、壁スイッチを素早くOFF→ONにする	10ページ「壁スイッチで照明器具を操作する」
リモコンで操作できない エコナビのOFF/ONができない	リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換する	5ページ「各部のなまえと付属部品」
	リモコンの電池が正しく入っていない	リモコンの電池を正しく入れる	
	リモコンと照明器具のチャンネルが合っていない	リモコンのチャンネルスイッチを変更して操作する	10ページ「リモコンのチャンネルを設定する」
環境設定ができない	エコナビがONになっている	「全灯」ボタンを押してから環境設定を行う	11ページ「エコナビの初期設定」
	「LED（常夜灯）」又は「消灯」になっている	「全灯」ボタンを押してから環境設定を行う	
エコナビ点灯時の最大の明るさを変えられない	エコナビがOFFになっている	「エコナビ」ボタンを押してから明るさ調整を行う	12ページ「エコナビをより省エネで使うには」
点灯状態が勝手に切り替わる	異常動作状態になっている	リモコン受信器の ・「OFF/ON」スイッチ ・「音切入」スイッチ ・「チャンネル設定」スイッチ の**3ボタンを同時に押す**。（はなすと「ピッ」と音がする） ●その後、下欄の「上記の処置を行っても現象が続く場合」の処置②③を行ってください。 	

上記の処置を行っても現象が続く場合	①電源をいったん切り再度入れる（約20秒以上切ってください） ②器具のチャンネルを変更する 10ページ「リモコンのチャンネルを設定する」参照 ③環境設定をする 11ページ「エコナビの初期設定」参照

●上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、販売店、工事店、お客様ご相談窓口(保証書内在中) にご相談ください。

保証とアフターサービス　よくお読みください

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は…
●修理は、「修理ご相談センター」へ!
●その他は、「お客様ご相談センター」へ!

■ 保証書（別添付）

保証書は、必ず「販売店名、購入日」などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。
よくお読みのあと、保管してください。
保証期間はお買い上げ日より1年間です。
但し、安定器については3年間です。(ランプなどの消耗品は除きます。)
※保証の例外　24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合、保証期間は半分となります。

■ 補修用性能部品の保有期間　6年

この照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打切り後最低6年間保有しています。
注）補修用性能部品とは、機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

ご連絡いただきたい内容
①製品名 ②品番 ③お買い上げ日 ④異常の状況（できるだけ具体的に）

●**保証期間中は、**お買い上げ日を特定いただき、お買い上げの販売店までご持参ください。販売店が修理させていただきます。

●**保証期間を過ぎているときは、**修理すれば使用できる製品については、ご要望により修理させていただきます。

●**修理料金は次の内容で構成されています。**
- 技術料　診断・修理・調整・点検などの費用です。
- 部品代　修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料　ご依頼により技術者を派遣する費用です。

パナソニック電工株式会社　インテリア照明事業部
〒571−8686　大阪府門真市門真1048
© Panasonic Electric Works Co., Ltd. 2009
HHFZ4322-T3A
N1009-00